

平成 26 年度～平成 29 年度長久手市地域福祉活動計画 事業評価シート（事業全掲載）

平成 26～29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協）事業評価シート（基本目標 1 みんなが「気づく」きっかけ、場があるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当係	H26～29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
1	P65	ホームページの効果的運用	社協の各種の募集記事やイベントの広報、関係機関へのリンクなど、情報発信の手段として効果的な運用を行います。	全社	○	ホームページソフトを導入し、簡易に更新可能にしました。 メールでの相談受付は、検討の結果、相談者と直接顔を合わせる機会を失う要因となるため導入を見送りました。 読み上げについてはホームページの仕様で導入できませんでした。 福祉まつり、広報など必要に応じて情報を適宜に発信しました。	改善	随時更新し新情報を発信します。 閲覧者が必要な情報にたどり着きやすくなるよう、ホームページの項目の立て方を変えていきます。
2	P66	「福祉のまちながくて」の発行	社協で行っている事業などの広報紙として、社協の役割や日頃の活動状況などをお知らせしています。	全社	○	平成 26 年度より 4 回発行とし市内全戸及び市内企業に市広報紙と同時配布しました。 役員及び評議員に広報紙モニターを行ってもらいました。市民モニター募集を実施しましたが、現在は 0 名です。 イメージキャラクターを紙面に毎号活用しました。 ホームページと QR コードを活用して連動させました。	継続	今後も社協情報だけでなく市民の関心のある内容、利益となる紙面作りを行っていきます。

平成 26 ~ 29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協）事業評価シート（基本目標 1 みんなが「気づく」きっかけ、場があるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当係	H26~29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
3	P67	【重点プロジェクト】 地区社協設置事業（CSW の配置）	住民が地域の福祉課題を早期 に発見し、互いに支え合いな がら解決していくための取り 組みを、“制度の狭間”で困っ ている方を支援する CSW がと りまとめながら、小学校区を 単位として住民と一緒につく ります。	地域福祉係	○	<p>西・北・市が洞小学校区地区社協の部会 活動として、「感度の良いコミュニティ」 作りのために、合計 152 回（延べ 1,9 55 人参加）の地域福祉学習会を行い、 南小学校区については、地域福祉学習会 を重ね平成 30 年 2 月地区社協設立にむ け準備中です。</p> <p>※平成 29 年 12 月 27 日現在 各地区社協では、これまでに、子どもサ ロン「もりもり元気食堂」、「さくさく宿 題教室」の開催や子育て中の母親向け冊 子の発行、「にこクック」、「絵手紙教室」 「オムツ講座」「こどもひろば」を実施し ました。</p> <p>それぞれの企画は、単にイベントとし ての開催ではなく、地域住民同士の交流 や、早期発見の場として実施し、個別ケ ースの発掘や地域課題の発掘の場となっ ています。</p> <p>CSW の相談実件数実績 ※平成 29 年 11 月 30 日現在 西小学校区 3, 178 件、北小学校区 2, 432 件、市が洞小学校区 269 件、南 小学校区 147 件</p>	充実	長・東小学校区では、CSW の配置が できていないため、早期発見につな がる仕組みを作ることができておらず、 相談には至っていないのが現状です。 そのため、全小学校区に CSW の配 置、地区社協の配置を行います。これ により、地区社協による地域支援と C SW による個別支援を連動させて行 う「感度の良いコミュニティ作り」＝ 地域包括ケアシステムの構築を行っ ていきます。

平成26～29年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標1 みんなが「気づく」きっかけ、場があるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当係	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
4	P68	【重点プロジェクト】 「見守りサポーター ながくて」養成事業	声かけ、サロンや地区社協の 支援、訪問による見守り活動 等を行う「見守りサポーター ながくて」の養成を通して、 悩んでいる方の早期発見・早 期対応ができる「感度の良い コミュニティ」を目指します。	地域福祉係	○	サポーター総数 初級 1185名、中級 154名、上級 35名 ※平成29年12月16日現在 初級サポーターが継続的に増えてい る要因としては、愛知県立大学、愛知淑 徳大学や自治会と協力して、身近で簡単 に取り組める環境をつくり、初級講座を 行うことができたためです。 上級・中級サポーターと民生委員との連 携強化を目的に、小学校区ごとの交流会 を開催しました。また個別訪問による見 守り支援は9件となりました。サポータ ーには、サロン運営のお手伝いとして のご協力も頂いております。	充実	民生委員と上級サポーターの関係の 連携強化、関係、役割の明確化を図る ため、中・上級サポーター養成の要綱 改正、生活支援サポーターとの統合に ついて検討をします。
5	P69	【重点プロジェクト】 地域交流のつどい・サロ ン活動の支援	閉じこもり防止や健康増進を 目的とした、住民が気軽に集 まれる場をつくるため、立ち 上げ支援、運営相談を行いま す。	地域福祉係	○	サロン総数 44か所（高齢者41か 所、子育て2か所、障がい1カ所） ※平成29年12月16日現在 これまでは、歩いていける身近な居場 所として、高齢者サロンを中心に、新規 サロンの立ち上げを支援してきました が、サロン助成を開始し多くのサロンが 助成期間を終了し、自主運営を始めてい ます。自主運営への支援としてフードバ ンクの活用を行ったり、継続訪問を行 うなかで、サロン活動への支援を継続し てきました。 サロン活動者と「見守りサポーター ながくて」との交流会を開催して、情報 交換と交流を行い、人手不足と感じて いるサロンとのマッチングを行ったり、障 がい児・者サロンの立ち上げを行いました。 立ち上げについては見守りサポーターの 協力を得て、当事者によるサロンを立ち 上げられるような支援を行いました。	充実	まだまだ総数からみても高齢者サロ ンが多く、子育てサロン・障がい児・者 のサロンの総数が少ないこともあり、 子育てサロンの立ち上げを促してい きます。また障がい者サロンの継続運営 が図れるように支援します。

平成26～29年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標1 みんなが「気づく」きっかけ、場があるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当係	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
6	P70	福祉実践者のつどい	市内の福祉事業所に勤務している職員同士の意見交換や交流を目的に3か月ごとに実施しています。	地域福祉係	△	市内福祉事業所職員を対象に交流会や勉強会等を実施しました。 職員同士のネットワークは構築できていません。 開催実績 平成26年度：3回実施 参加者99名 平成27年度：4回実施 参加者73名 平成28年度：2回実施 参加者27名 平成29年度：未実施	廃止	交流会や勉強会等を企画・実施してきましたが、年々参加者が減少しています。市において、大規模な医療・介護・福祉ネットワークが立ち上がり、本事業と目的が類似し相違がないため、廃止を検討します。
7	P71	【新規事業】 各種講座の開催	住民全ての方が、安心して暮らせるような市全体の福祉の向上を目的にこれまでにないインフォーマルな視点で、多分野にわたる講座を開催します。	地域福祉係	◎	川柳、スクラップブック、更年期、親子料理、メタボ予防、チラシ作成等をテーマとし実施しました。 平成29年度から地域ボランティア養成講座と事業を統合しました。 参加実績 平成26年度：99名 平成27年度：117名 平成28年度：92名	廃止	平成29年度より事業の内容を見直しボランティア活動を主体としボランティアセンターが主催で地域において住民がつながる地域に根ざした講座を開催しています。

平成 26 ~ 29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 1 みんなが「気づく」きっかけ、場があるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当係	H26~29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
8	P72	弁護士などによる心配ごと相談事業	市民が気軽に来所でき、生活上の相談をすることができる「心配ごと相談」を行っています。第 2・4 木曜日は法律相談、第 3 木曜日は人権相談を行っています。	総務係	◎	平成 28 年度から法律相談が市へ業務が移管されました。 人権相談は毎月広報紙にて実施日を周知しています。	継続	人権相談の対象がわかりにくいため、幅広い相談内容であることを周知します。
9	P73	【新規事業】 生活困窮者自立相談支援事業	近年増加している生活困窮に至るリスクの高い人々や、働き盛りの家族を含む生活保護受給者などの生活を支えるセーフティネットの構築を国の動向に合わせて目指します。	地域福祉係 生活困窮者 自立支援担 当	◎	モデル事業実施を経て、制度開始となる平成 27 年度より自立相談支援事業と併せて家計相談支援事業を受託し、支援体制を強化しました。 市、ハローワークと連携して就労支援を行いました。 年間平均実績 相談件数：1999 件 新規相談件数：95.8 件。	充実	事業の周知、対象者の早期発見・早期対応のため、継続的な周知活動が必要です。 支援を通じて、さまざまな分野の機関や事業所等との連携を更に強化・発展させていきます。
10	P97	ボランティア相談員による相談支援	職員による相談だけでなく、ボランティア相談員がボランティア活動をしたい人やボランティア活動をしている人の相談に応じています。	ボランティ アセンター (地域福祉係)	◎	相談日を平日以外の土曜日に設けました。 相談日数を月 5 回に増やしました。 平成 29 年度から地域での出張相談を実施しました。 施設からの訪問相談の依頼はありませんでしたので、ボランティア相談日以外に出張相談を実施しました。 相談実績 平成 26 年度：13 件 平成 27 年度：14 件 平成 28 年度：16 件 平成 29 年度：15 件（12 月末現在）	充実	ボランティア啓発事業で、地域出張ボランティア相談を行います。 平成 29 年度に 2 名の相談員を増員しましたが、2 名が退任の予定です。相談員の増員を行います。

平成26～29年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標2 みんなが「つながる」楽しさを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当係	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
3	P67	【重点プロジェクト】 地区社協設置事業（CSW の配置）（再掲）	住民が地域の福祉課題を早期に 発見し、互いに支え合いながら 解決していくための取り組み を、“制度の狭間”で困っている 方を支援するCSWがとりまとめ ながら、小学校区を単位として 住民と一緒につくります。	地域福祉係	○			
4	P68	【重点プロジェクト】 「見守りサポーター なが くて」養成事業（再掲）	声かけ、サロンや地区社協の支 援、訪問による見守り活動等を行 う「見守りサポーター なが くて」の養成を通して、悩んで いる方の早期発見・早期対応が できる「感度の良いコミュニテ ィ」を目指します。	地域福祉係	○			
5	P69	【重点プロジェクト】 地域交流のつどい・サロ ン活動の支援（再掲）	閉じこもり防止や健康増進を目的 とした、住民が気軽に集まれる 場をつくるため、立ち上げ支 援、運営相談を行います。	地域福祉係	○			
6	P70	福祉実践者のつどい（再 掲）	市内の福祉事業所に勤務してい る職員同士の意見交換や交流を 目的に3か月ごとに実施してい ます。	地域福祉係	△			

平成 26～29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 2 みんなが「つながる」楽しさを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当係	H26～29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
7	P71	【新規事業】各種講座の 開催（再掲）	住民全ての方が、安心して暮らせるような市全体の福祉の向上を目的にこれまでにないインフォーマルな視点で、多分野にわたる講座を開催します。	地域福祉係	◎			
11	P74	総合相談支援業務	高齢者が住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活を継続するために必要な支援を把握し、適正なサービスや機関、制度につなげる支援を行います。	地域包括支援センター (相談支援係)	◎	平成 25 年度から出張相談に取り組んでいますが、定期開催場所や実施回数を増やし、より個々の相談に応じることが出来ました。 高齢者の閉じこもりのない環境づくりのため介護予防目的とした「まめ会」等を実施しました。 出張相談実施回数 平成 26 年度：3 か所・18 回 平成 26 年度：3 か所・24 回 平成 28 年度：6 か所・40 回 平成 29 年度：10 か所・42 回(予定含む)	充実	地域の高齢者がより身近に相談できるよう、出張相談の開催場所・回数を随時検討し、地域住民のニーズ把握に努めます。 地域課題は収集を行っている段階で、分析までには至っていません。分析方法は、市と検討します。
12	P75	社会福祉大会	福祉関係者が集まり、福祉活動の充実に向けて一丸となるだけでなく、社会福祉の発展に功績のあった人々を顕彰し、社会連帯意識の高揚と住民主体の地域福祉の推進を目的に、毎年開催しています。	総務係	◎	毎年度 150 名程度の参加者がありました。住民参加を促す為、高校生まで福祉体験発表の参加枠を広げました。	継続	毎年会場は、ほぼ満員の状態であるため、現在の内容で継続して行います。

平成 26 ~ 29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 2 みんなが「つながる」楽しさを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当係	H26~29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
13	P76	福祉まつり	市内のボランティア団体・福祉施設が出展し、活動内容などを発信できるように場を設けると同時に、ボランティア同士や福祉関係者同士が連携するための交流も目的に開催しています。	全社	○	平成 26 年より市民主体の実行委員会 が主催の形式にて開催しました。 新たな企画としてメインテーマを設 けて 28 年は「障害」・29 年は「子ど も」としました。 経費削減として備品の削減等を行 いましたが十分な成果は出ていま せん。 来場者 平成 26 年度：1,700 名 平成 27 年度：1,500 名 平成 28 年度：1,400 名 平成 29 年度：荒天中止	継続	今後も地域の企業等の協賛も得て、実 行委員会主体で開催をしていきます。
14	P90	貸付相談事業	低所得世帯や障がい者・高齢者世 帯などで、生活にお困りの方への 緊急対策及び世帯の自立更生資 金の貸付を行っています。	地域福祉係	◎	はやぶさ資金の一部要綱変更を、生 活困窮自立支援事業の実施等で、平 成 27 年、平成 29 年に 2 回を実施し、 広報やホームページで周知しまし た。 職員の専門性を高めるため、専門員 研修に参加しました。 はやぶさ資金貸付実績 平成 26 年度 8 件 124,040 円 平成 27 年度 8 件 101,143 円 平成 28 年度 4 件 53,710 円 平成 29 年度 9 件 140,252 円 生活福祉資金貸付実績 平成 26 年度 1 件 2,246,700 円 平成 27 年度 1 件 1,490,000 円 平成 28 年度 1 件 4,080,000 円 平成 29 年度 0 件 0 円	充実	他の相談機関と連携し、貸付を行うこ とで、地域での生活を長期的に支援し ます。はやぶさ資金は、生活の維持に 必要なケース以外貸付できず金額も 3 万円までと低額のため、活用できる範 囲が限られています。そのため、入学 準備や障がいサービスの認定前利用に かかる費用など対応できる幅を広げる 検討を行います。

平成 26～29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 2 みんなが「つながる」楽しさを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当係	H26～29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
15	P96	ボランティア養成研修・啓発	ボランティアを養成する入門講座や育成のための研修、啓発のためのイベントなどを開催することで、ボランティア活動者の増加を目指します。	ボランティアセンター (地域福祉係)	◎	<p>ボランティア活動のきっかけ作り・入門企画として「ボラ活」を平成 26 年度から平成 28 年度まで、ボランティア入門講座として、平成 29 年度は地域出張相談事業として実施しました。</p> <p>その他、ボランティアの養成・研修・啓発として「東尾張ブロックボランティア集会」への参加や交流会（説明会）等を実施しました。</p> <p>事業毎に評価の指標となるアンケートを実施しました。</p> <p>「ボラ活」参加者実績 平成 26 年度：15 名（参加団体 21 団体）、平成 27 年度：4 名（参加団体 9 団体）。平成 28 年度：22 名（参加団体 1 団体） 平成 29 年度：65 名（参加団体 4 団体）</p>	改善	ボランティア活動のきっかけ作りとして、ボランティア地域出張相談事業「ボラ活」の内容充実を図るため地区社協と連携し、地域にねざしたボランティアの育成を目指します。

平成 26～29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 3 みんなに「届く」安心なまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
3	P67	【重点プロジェクト】 地区社協設置事業 (CSW の配置) (再掲)	住民が地域の福祉課題を早期に見出し、互いに支え合いながら解決していくための取り組みを、“制度の狭間”で困っている方を支援する CSW がとりまとめながら、小学校区を単位として住民と一緒につくります。	地域福祉係	○			
4	P68	【重点プロジェクト】 「見守りサポーター ながくて」養成事業 (再掲)	声かけ、サロンや地区社協の支援、訪問による見守り活動等を行う「見守りサポーター ながくて」の養成を通して、悩んでいる方の早期発見・早期対応ができる「感度の良いコミュニティ」を目指します。	地域福祉係	○			
5	P69	【重点プロジェクト】 地域交流のつどい・ サロン活動の支援 (再掲)	閉じこもり防止や健康増進を目的とした、住民が気軽に集まれる場をつくるため、立ち上げ支援、運営相談を行います。	地域福祉係	○			
6	P70	福祉実践者のつどい (再掲)	市内の福祉事業所に勤務している職員同士の意見交換や交流を目的に3か月ごとに実施しています。	地域福祉係	△			

平成 26～29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 3 みんなに「届く」安心なまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
7	P71	【新規事業】 各種講座の開催（再掲）	住民全ての方が、安心して暮らせるような市全体の福祉の向上を目的にこれまでにないインフォーマルな視点で、多分野にわたる講座を開催します。	地域福祉係	◎			
8	P72	弁護士などによる 心配ごと相談事業（再掲）	市民が気軽に来所でき、生活上の相談をすることができる「心配ごと相談」を行っています。第 2・4 木曜日は法律相談、第 3 木曜日は人権相談を行っています。	総務係	◎			
16	P77	権利擁護業務	虐待の防止、権利擁護に対する認識の促進を目的として、勉強会・啓発・広報活動を行っています。	地域包括支援センター（相談支援係）	◎	虐待などの権利擁護に関する相談があった際は、速やかに市に報告し対応を協議しています。またケアマネジャー連絡会で権利擁護や成年後見制度の勉強会を実施するなど連携及び啓発活動も行いました。 相談実績 平成 26 年度 30 件 平成 27 年度 129 件 平成 28 年度 46 件 平成 29 年度 18 件 (12 月末現在)	継続	関係機関（市、介護保険のサービス事業所や、ケアマネジャーなど）と連携を図り、虐待などの早期発見・早期対応を行なっています。

平成 26～29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 3 みんなに「届く」安心なまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
17	P78	日常生活自立支援事業	認知症、障がいなどで、金銭管理に不安のある方の契約や金銭管理を支援しています。	地域福祉係	◎	関係機関が集まる会議や市民後見人養成研修などを通じて成年後見センターと連携しました。 広報紙やパンフレットを活用して包括支援センターや民生委員への周知活動を実施しました。 契約者数及び相談件数実績 平成 27 年度：7 名 相談件数 778 件 平成 28 年度：9 名 相談件数 475 件 平成 29 年度：14 名 相談件数 327 件 (12 月末現在)	継続	関係機関と連携しながら、安全かつ確実に書類を管理できるよう努めます。 また、事業について市民や関係機関に向け周知を継続し、潜在的なニーズの発掘に努めます。 平成 28 年度に愛知県社会福祉協議会が設置する法律・福祉・医療・の専門家と当事者組織等で構成された第 3 者機関である運営適正化委員会による訪問調査を受け、事業運営の適正化に努めることが出来ました。
18	P79	介護予防事業に関する ケアマネジメント	身体機能低下の予防や閉じこもり・認知症の予防を目的に地域で実施されている「いきいき倶楽部」への参加や、出張相談を行うことで、地域の情報収集や見守り、相談支援を実施しています。	地域包括支援センター（相談支援係）	◎	「いきいき倶楽部」への参加や出張相談を行い、地域の情報収集や見守り、相談支援を実施しています。 いきいき倶楽部参加実績 平成 26 年度：11 か所 60 回 平成 27 年度：13 か所 67 回 平成 28 年度：14 か所 72 回 平成 29 年度：12 か所 64 回 (12 月末現在)	継続	「いきいき倶楽部」や地域サロンなどを訪問し、地域の情報収集や見守り、相談支援を実施します。
19	P80	新予防給付に関する ケアマネジメント	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、介護認定で要支援と認定された方と平成 29 年 3 月より開始された総合事業該当者を対象に、ケアマネジメントを行っています。	地域包括支援センター（相談支援係）	◎	高齢化と総合事業開始に伴い、ケアプランの作成件数が増加し続けています。作成する際は介護保険以外のインフォーマルなサービスも活用し、より個人の状況にあったプランを作成しました。 ケアプラン作成実績 平成 26 年度：1,260 件 平成 27 年度：1,434 件 平成 28 年度：1,527 件 平成 29 年度：1,183 件 (12 月末現在)	継続	地域サロン等、介護保険以外のサービスも活用し、より身体状況や生活環境の改善につながるようなケアプランを作成していきます。

平成 26～29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 3 みんなに「届く」安心なまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
20	P81	介護予防事業	高齢者が介護保険による要支援・要介護状態にならないために、平成 25 年度から、市の委託により行っていましたが、総合事業への移行に伴い平成 28 年度で受託契約が終了となりました。	地域包括支援センター (相談支援係)	◎	閉じこもり防止・認知症予防を目的とした「あったか昼食会」や、運動機能向上を目的とした「転倒予防教室、アクア教室」、口腔機能向上を目的とした「口腔ケア教室」、栄養改善を図るための「栄養改善教室」などを行いました。 アンケート等を基に内容を見直し実技形式を取り入れるなどしました。 総合事業への移行に伴い平成 28 年度で受託契約が終了となりました。	廃止	
21	P82	居宅介護支援（ケアプラン作成業務）	要介護状態にある方に対し、本人や家族の意向に沿ったサービスや利用する事業者を盛り込んだケアプランを作り、在宅で安心して生活できるよう支援しています。	居宅介護支援事業所（事業係）	◎	平成 26 年 4 月から比べると現在は、常勤職員を 1 名増員するなど適切な職員配置をすることができました。 プランを作成する際は家族が求めるサービスに対して利用者や家族の生活が拓くためのケアプラン作りをしています。	継続	より質の高い介護サービスを提供できるよう、様々な研修に参加し、ケアマネジメントの質の向上を目指し活動していきます。

平成 26～29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 3 みんなに「届く」安心なまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
22	P83	訪問介護・予防訪問介護 (ホームヘルプサービス)	要支援・要介護状態になっても在宅生活を続けられるよう、ケアプランに基づいてホームヘルパーを派遣して、身体介護(入浴や食事、排泄など)、家事援助(掃除や洗濯、調理など)の在宅サービスを提供しています。	ホームヘルパーステーションかえで(事業係)	◎	求人チラシや広報紙等を活用して周知、職員の確保を実施しました。 サービス提供責任者を1名増員するなど適切に職員配置を行うことができました。 サービスの質の向上を目的に毎月職員の研修を実施しました。 利用者数実績 平成 26 年度：23 名 平成 27 年度：28 名 平成 28 年度：29 名 平成 29 年度：29 名(12 月末現在)	継続	きめの細かいサービスを提供し、信頼される事業所を目指します。 また、介護保険制度改正の動向を注視し、利用者に必要なサービスのあり方を検討していきます。
23	P84	居宅介護事業・地域支援事業(障がい者総合支援事業)	住み慣れた地域で継続的に在宅生活を続けるために、ホームヘルプサービスを提供しています。また、障がい者の社会参加を促進する為の移動支援も行っています。	ホームヘルパーステーションかえで(事業係)	○	職員体制を整備のため求人チラシ、就職フェア等に出展等を実施して職員採用をしましたがニーズの増加に対応できていません。 利用者実績 平成 26 年度：7 名 平成 27 年度：12 名 平成 28 年度：18 名 平成 29 年度：19 名(12 月末現在)	継続	本事業所以外でも市内事業所は、新規の受け入れが困難な状況です。 また、障がい者への対応の経験値が低い職員もいるため研修等を通じて、スキルアップを図ります。

平成 26～29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 3 みんなに「届く」安心なまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
24	P85	通所介護事業（デイサービス）	介護保険事業の要支援・要介護者を対象に、できるだけ自立した日常生活がおくれるよう、通所により日常生活の支援や機能訓練を提供しています。	デイサービスセンターさつき（事業係）	◎	利用者アンケートを実施してニーズの把握、職員研修を、毎月実施し、先進地視察として「夢のみずうみ村」等を視察するなどして事業の見直し、サービスの質の向上に努めました。 平成 28 年度より基準該当サービス、平成 29 年度からは、総合事業が開始となりました。それに伴い、介護認定を受けていない方の受け入れも進めています。また市内保育園と多世代交流も行っています。 稼働率 平成 26 年度：93% 平成 27 年度：76% 平成 28 年度：75% 平成 29 年度：83%（12 月末現在）	継続	平成 30 年度から「共生型サービス」（高齢者だけではなく、障がい児者が共に利用できるサービス）が創設されます。今後も幅広いニーズに対応ができるよう、事業所内で研修を行ったり、居宅介護支援事業所等の関係機関と連携を図ります。また、利用者アンケートの結果をサービスの改善・検討につなげます。
25	P86	包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築	高齢者の入退院時などに、本人や家族の意向をもとに、医療機関や病院の相談員（MSW）、介護サービス事業者などと連携して必要なサービスの提案や利用調整を行い、安定した生活ができるように支援しています。	地域包括支援センター（相談支援係）	◎	ICT を活用したネットワーク（愛・ながくて夢ネット）による患者情報の共有だけでなく、平成 28 年度に作成された「長久手市入院時情報連携シート」も利用し、連絡・相談体制を整えています。 平成 29 年度に愛・ながくて夢ネット内で立ち上がった各部会（入退院調整・研修・事例検討）に参加し、より円滑に入退院調整が行える仕組み作りを検討しています。	継続	地域の高齢者がいつまでも住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、社会資源や地域の力をつなげ、地域全体で一人ひとりの生活を支え合う「地域包括ケアシステム」の構築を目指します。

平成 26～29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 3 みんなに「届く」安心なまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
26	P87	生きがい活動型デイサービス事業	日常動作訓練や趣味活動の提供を行い、身体的な機能の低下防止、生きがいづくりの援助をとなるサービスを提供しています。	デイサービスセンターさつき (事業係)	◎	利用者アンケートを実施してニーズの把握、職員研修を、毎月実施し、先進地視察として「夢のみずうみ村」等を視察するなどして事業の見直し、サービスの質の向上に努めました。 利用者数実績 平成 26 年度：80 名 平成 27 年度：169 名 平成 28 年度：156 名	廃止	平成 29 年 3 月より介護予防・日常生活支援総合事業に移行されました。
27	P88	日中一時支援事業 (地域活動支援センター事業から平成 28 年度より変更)	家族の介護負担軽減や障がい者本人の自立支援を目的にデイサービスを提供しています。	デイサービスセンターさつき (事業係)	◎	利用者アンケートを実施してニーズの把握、職員研修を、毎月実施し、先進地視察として「ひまわり福祉会」等を視察するなどして事業・自立プログラムの見直し、サービスの質の向上に努めました。 利用者数実績 平成 26 年度：569 名 平成 27 年度：604 名 平成 28 年度：643 名 平成 29 年度：446 名 (12 月末現在)	充実	利用者及び家族のニーズを取り入れて、行事などのサービス内容の充実に努めます。
28	P89	年忘れ「お笑い演芸会」の開催	高齢者同士の交流や外出の機会創出のために、ボランティアによる寄席を開催しています。	地域福祉係	○	ボランティアによる落語の寄席を開催しました。多くの参加者に来てもらうため、予約制を廃止、土曜日開催を実施しましたが、目標の 350 名には届きませんでした。 参加者実績 平成 26 年度 269 名 6 か所 平成 27 年度 200 名 6 か所 平成 28 年度 231 名 6 か所 平成 29 年度 244 名 3 か所	継続	平成 29 年度から小学校区 (6 箇所) から中学校区 (3 箇所) での開催に変更しました。※開催は、北中学校区 1 回実施、長久手中学校区 2 回実施。 次年度は、3 つ中学校区でのすべての開催を検討します。

平成26～29年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標4 みんなで「支え合う」喜びを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
3	P67	【重点プロジェクト】 地区社協設置事業（CSW の配置）（再掲）	住民が地域の福祉課題を早期に発見し、互いに支え合いながら解決していくための取り組みを、“制度の狭間”で困っている方を支援するCSWがとりまとめながら、小学校区を単位として住民と一緒につくります。	地域福祉係	○			
4	P68	【重点プロジェクト】 「見守りサポーター ながくて」養成事業（再掲）	声かけ、サロンや地区社協の支援、訪問による見守り活動等を行う「見守りサポーターながくて」の養成を通して、悩んでいる方の早期発見・早期対応ができる「感度の良いコミュニティ」を目指します。	地域福祉係	○			
5	P69	【重点プロジェクト】 地域交流のつどい・サ ロン活動の支援（再掲）	閉じこもり防止や健康増進を目的とした、住民が気軽に集まれる場をつくるため、立ち上げ支援、運営相談を行います。	地域福祉係	○			
6	P70	福祉実践者のつどい （再掲）	市内の福祉事業所に勤務している職員同士の意見交換や交流を目的に3か月ごとに実施しています。	地域福祉係	△			
7	P71	【新規事業】各種講座 の開催（再掲）	住民全ての方が、安心して暮らせるような市全体の福祉の向上を目的にこれまでにないインフォーマルな視点で、多分野にわたる講座を開催します。	地域福祉係	◎			

平成 26 ~ 29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 4 みんなで「支え合う」喜びを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26~29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
9	P73	【新規事業】 生活困窮者自立相談支 援事業（再掲）	近年増加している生活困窮に至るリス クの高い人々や、働き盛りの家族を含 む生活保護受給者などの生活を支える セーフティネットの構築を国の動向に 合わせて目指します。	地域福祉係 生活困窮者 自立相談支 援担当 (相談支援係)	◎			
29	P91	ボランティアの紹介・ 斡旋	ボランティア活動に参加したい人に対 し、ボランティアを求める方を紹介し ています。	ボランティ アセンター (地域福祉係)	○	登録団体・ボランティア募集をホーム ページに掲載しました。 「まちセンまつり」に出展し PR 及び 情報発信を実施しました。 ボランティア団体情報誌「ザ・ボラ セン」、ボランティア通信の配布、回 覧を市内福祉施設に実施しました。 広報紙にてボランティア特集、団体 の紹介記事を掲載しました。 様々な周知活動を実施していますが、 ボランティアの派遣数は横ばい です。 ボランティア依頼、派遣実績 平成 26 年：依頼 103 件派遣 117 件 平成 27 年：依頼 103 件派遣 119 件 平成 28 年：依頼 94 件 派遣 115 件 平成 29 年：依頼 74 件 派遣 83 件 (12 月末現在)	充実	ボランティアセンターを PR する為 に、「福祉のまち ながくて」への掲 載の継続、ホームページの充実、ボ ランティアセンターの掲示板の有効 活用を推進します。特に、ボランテ ィア依頼については、ホームページ や掲示板にすぐに反映し、ボランテ ィアをしたい人が応募しやすい体制 作りをします。 地区社協を活用した情報提供を検討 します。

平成 26 ~ 29 年度長久手市地域福祉活動計画 (社協) 事業評価シート (基本目標 4 みんなで「支え合う」喜びを知るまち)

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26~29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
30	P92	【新規事業】 災害時ボランティアセンター事業	行政及び関係機関・ボランティアなどと協働しながら、被災者、被災地の早い復興をはかるため、災害時に設置します。	ボランティアセンター (地域福祉係)	◎	<p>市民参加の災害時ボランティアセンター運営訓練を実施しました。また必要機材である発電機・テント等の購入を実施しました。</p> <p>「長久手市災害時ボランティアセンター」設置運営マニュアルを平成 26 年に作成し随時見直しています。</p> <p>市民を対象に防災ボランティアコーディネーター養成講座、スキルアップ講座を毎年開講しました。</p> <p>市及び愛知県社会福祉協議会等と協力して東日本大震災被災者で長久手市に避難している方への支援として訪問活動を行いました。</p> <p>東尾張ブロック市町村社会福祉協議会で広域の災害時ボランティアセンター運営訓練に毎年参加しています。</p> <p>災害ボランティアセンター運営訓練市民参加者数 平成 26 年：30 名 平成 27 年：27 名 平成 28 年：24 名 平成 29 年：26 名</p> <p>防災ボランティアコーディネーター養成講座・スキルアップ講座参加者数 平成 26 年：58 名 平成 27 年：60 名 平成 28 年：47 名 平成 29 年：21 名 (スキルアップ講座は 2 月開催予定)</p>	充実	<p>職員のための災害時ボランティアセンター運営訓練を実施して理解度を深めます。</p> <p>今後も不足している災害時に必要な物品の購入を実施します。</p> <p>一般市民に対し、防災ボランティアコーディネーターの養成をはかり、防災知識の豊富な活動者を増員します。併せて、防災の啓発に努めていきます。</p> <p>特に、若い世代に対し、災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練参加を呼びかけ、防災に対する意識を高めるよう働きかけます。</p>

平成 26 ~ 29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 4 みんなで「支え合う」喜びを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26~29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
31	P93	会員募集事業	地域福祉への理解と協力を求めるため、地域福祉の推進を目的に会員募集を行っています。	地域福祉係	◎	チラシをカラーで作成しわかりやすいものにしました。 会費募集につながる企画として、見守りサポーターの養成など市民の理解が得られる事業へ会費を活用して会費を PR しました。 市内法人に加入促進として加入法人を広報紙に掲載しました。 会費実績 平成 26 年度：3,968,200 円 平成 27 年度：4,033,350 円 平成 28 年度：3,973,250 円 平成 29 年度：3,923,100 円	継続	一般会員は、自治会に取りまとめを協力してもらっています。そのため自治会に加入していない地区・世帯に対して周知が不足しています。地区社協等を通し会員募集への協力・個別訪問等による社協の取り組み PR し会員の加入につながるようにしていきます。
32	P94	共同募金運動事業	住民相互の助け合いと地域福祉の推進を目的に、赤い羽根共同募金（毎年 10 月）及び歳末助け合い募金（毎年 12 月）を実施しています。	地域福祉係	◎	平成 26 年度に長久手市共同募金委員会を設置し、募金の配分や共同募金運動実施内容について協議しました。 周知活動として、募集チラシに具体的な募金配分事業の掲載や募金の活用例、意義を広報誌に掲載しました。 募金実績 平成 26 年度：一般募金 3,906,480 円 歳末募金 151,503 円 平成 27 年度：一般募金 3,985,259 円 歳末募金 131,147 円 平成 28 年度：一般募金 3,729,985 円 歳末募金 120,805 円 平成 29 年度：一般募金 3,708,425 円 歳末募金 274,016 円	充実	共同募金委員会で公開プレゼンテーションの導入を検討しましたが見送りました。子どもの貧困問題など困っている方へ直に届く事業への配分を増やして行き、市民から理解を得られるような募金運動・配分事業を行っていきます。

平成 26 ~ 29 年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標 4 みんなで「支え合う」喜びを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26~29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
33	P95	ひとり親援助活動	映画鑑賞をした親子に対し、一人あたり 500 円の助成を行っています。	地域福祉係	◎	平成 26 年は映画観賞への助成を 80 名に行いました。 アンケート調査を実施し事業内容を平成 27 年度より見直しを行いました。 平成 27 年度は、家計講座（参加 5 名）を平成 28 年度は、子どもの貧困に関する講演会（参加 104 名）を開催しました。 平成 29 年度から、生活に困窮するひとり親の世帯に小学校入学準備金として 5,000 円を助成する事業実施しました。（実績 9 名・45,000 円助成） 児童全体につながる事業は、ふれあい劇場として幼児向けの福祉教育の事業を平成 26 年から 29 年まで毎年実施し延べ 462 名が参加しました。	充実	ひとり親へのアンケートより、助成を望む声が多数あったため、中学校入学のひとり親世帯に対する助成などの事業対象の拡大を検討します。
15	P96	ボランティア養成研修・啓発（再掲）	ボランティアを養成する入門講座や育成のための研修、啓発のためのイベントなどを開催することで、ボランティア活動者の増加を目指します。	ボランティアセンター (地域福祉係)	◎			
10	P97	ボランティア相談員による相談支援（再掲）	職員による相談だけでなく、ボランティア相談員がボランティア活動をした人、ボランティア活動をしている人の相談に応じています。	ボランティアセンター (地域福祉係)	◎			

平成 26 ~ 29 年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標 4 みんなで「支え合う」喜びを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26~29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
34	P98	【新規事業】障がい者 相談業務	福祉の家に設置されている「長久手市障がい者相談支援センター」において、障がい者、障がい児、またそのご家族の相談業務を行っています。	障がい者相談 支援センター (相談支援係)	◎	相談支援ソフトの導入により、相談員間の情報が共有できるようになりました。また、個々の相談案件から地域課題を抽出することで、必要な社会資源の把握に努めました。 障がい福祉機関以外との連携を検討した結果、精神医療機関への周知活動や保育園への巡回相談等を実施しました。	継続	予定通り計画を進めることができましたが、多機関との連携を今後は充実させる必要があります。

平成26～29年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標5 みんなに「たつせがある」成長できるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
3	P67	【重点プロジェクト】 地区社協設置事業(CSW の配置) (再掲)	住民が地域の福祉課題を早期に見出し、互いに支え合いながら解決していくための取り組みを、“制度の狭間”で困っている方を支援するCSWがとりまとめながら、小学校区を単位として住民と一緒につくります。	地域福祉係	○			
4	P68	【重点プロジェクト】 「見守りサポーター ながくて」養成事業 (再掲)	声かけ、サロンや地区社協の支援、訪問による見守り活動等を行う「見守りサポーターながくて」の養成を通して、悩んでいる方の早期発見・早期対応ができる「感度の良いコミュニティ」を目指します。	地域福祉係	○			
5	P69	【重点プロジェクト】 地域交流のつどい・サ ロン活動の支援 (再掲)	閉じこもり防止や健康増進を目的とした、住民が気軽に集まれる場をつくるため、立ち上げ支援、運営相談を行います。	地域福祉係	○			
6	P70	福祉実践者のつどい (再掲)	市内の福祉事業所に勤務している職員同士の意見交換や交流を目的に3か月ごとに実施しています。	地域福祉係	△			

平成 26 ~ 29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 5 みんなに「たつせがある」成長できるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26~29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
7	P71	【新規事業】 各種講座の開催(再掲)	住民全ての方が、安心して暮らせるような市全体の福祉の向上を目的にこれまでにないインフォーマルな視点で、多分野にわたる講座を開催します。	地域福祉係	◎			
30	P92	【新規事業】 災害時ボランティアセンター事業(再掲)	行政及び関係機関・ボランティアなどと協力しながら、被災者、被災地の早い復興を行うため、災害時に設置します。	ボランティアセンター (地域福祉係)	◎			
15	P96	ボランティア養成研修・啓発(再掲)	ボランティアを養成する入門講座や育成のための研修、啓発のためのイベントなどを開催することで、ボランティア活動者の増加を目指します。	ボランティアセンター (地域福祉係)	◎			
10	P97	ボランティア相談員による相談支援(再掲)	職員による相談だけでなく、ボランティア相談員がボランティア活動をしたい人やボランティア活動をしている人の相談に応じています。	ボランティアセンター (地域福祉係)	◎			
35	P99	社会福祉協力校助成	市内の小・中・高等学校に対し、福祉協力校として委託し、福祉教育を推進します。	ボランティアセンター (地域福祉係)	◎	市内の小・中・高等学校 11 校で福祉実践教室を開催し、講師等の派遣を実施しました。併せて、社会福祉協力校連絡協議会も組織し福祉教育について提案、協議し福祉協力校との連携に活用しています。	充実	福祉実践教室の内容の充実を図る為に、高齢者、障がいなど様々な講師を募り効果的な教室を開催できるよう努めます。特に高齢者疑似体験講師、知的障がい講師となる人の養成、育成を目指します。

平成 26 ~ 29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 5 みんなに「たつせがある」成長できるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26~29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
36	P100	高齢者生涯学習事業	市内の 60 歳以上の方を対象に、生きがづくり、健康増進、仲間づくりを目的に、運動や工芸、パソコンなどの各種講座を開催しています。	地域福祉係	◎	平成 26 年～27 年度まで実施しました。参加者実人数約 400 名の参加を得て、約 25 の講座を開催しました。アンケートに基づき運動講座を増やしました。健康増進、閉じこもり防止に効果がありました。	廃止	平成 28 年度に市に事業を移管しました。
37	P101	福祉作文コンクール事業	児童・生徒の福祉活動の啓発を目的に、作文を通して福祉活動を考える機会を設けています。	地域福祉係	◎	平成 29 年度より市内の高校まで対象を拡大しました。福祉活動の啓発により参加が増加しています。冊子をホームページへ掲載及び学校等へ配布を実施しました。 児童・生徒参加実績 平成 26 年度：360 名 平成 27 年度：256 名 平成 28 年度：449 名 平成 29 年度：571 名	継続	各小・中学校の応募状況に対し差があるため、福祉協力校連絡協議会や各学校に取り組み状況の確認や応募の少ない学校の担当者との協議するなどして応募者の増加を図ります。
38	P102	男性の料理教室の開催	男性の高齢者を対象に、手軽に作れて、栄養の取れる料理教室を開催します。	地域福祉係	◎	本講座の認知度も上がり、平成 27 年度以降は、定員超の応募があります。外出機会、交流の場になっています。サロンの担い手ではありませんが受講生を中心にそば打ちのボランティア団体ことができました。 受講終了者数 平成 26 年度：17 名 平成 27 年度：19 名 平成 28 年度：20 名 平成 29 年度：20 名	継続	これまでの周知活動では、ひとり暮らしの高齢男性の応募が少ないため、対象者に情報が届くように周知します。

平成 26～29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 5 みんなに「たつせがある」成長できるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
39	P103	地域のケアマネジャーの個別支援とネットワーク構築	高齢者などの個々の状況や変化に応じた包括的、継続的なケアマネジメントを実現するため、他事業所のケアマネジャーの個別相談や助言を行うなどの後方支援を行っています。	地域包括支援センター (相談支援係)	○	地域のケアマネジャーに対して適宜電話相談・同行訪問等の支援を行っています。 ケアマネジャー連絡会を開催し情報交換、収集を行いました。また、多角的な視点で支援が行えるよう、個別地域ケア会議の実施方法を市と検討しました。 職員のスキルアップを目的に「地域包括ケア研修」などに参加しました。 地域のケアマネジャーとのネットワークについては構築中であり未達成です。	充実	ケアマネジャー連絡会と地域ケア会議を継続し、ケアマネジャーの資質向上や情報交換を行います。また、地域におけるケアマネジャーのネットワークを形成していきます。
40	P104	高齢者に関するネットワーク構築	各関係機関主催の会議に出席し、一人暮らし高齢者、認知症高齢者、徘徊高齢者、高齢者虐待、高齢者の消費者被害などの早期発見と見守りネットワークの構築を目指しています。また、行方不明高齢者保護ネットワーク事業の運営と推進を目的に、広報活動も行っています。	地域包括支援センター (相談支援係)	◎	民生委員児童委員協議会や包括支援センター連絡会等の会議に参加し、情報の共有を行いました。 行方不明高齢者保護ネットワーク事業については、市とマニュアルの整備を行いました。平成 29 年度より、マニュアルに基づき、スムーズに対応が行えるよう定期的にセンター内で訓練を行っています。また出張相談や出前講座、認知症サポーター養成講座等での広報活動を行っています。	継続	各種定例会議に参加し、情報の共有を行っています。 行方不明高齢者保護ネットワーク事業については、出張相談や出前講座、認知症サポーター養成講座等での広報活動を継続します。

平成 26 ~ 29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 5 みんなに「たつせがある」成長できるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26~29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
41	P105	理事会・評議員会・監事会の運営	地域の福祉関係者によって、事業計画・予算、事業報告・決算の承認、また、定款変更や法人運営にかかる重要な案件の執行・議決などを行っています。	総務係	◎	平成 28 年度から平成 29 年度にかけて社会福祉法人制度改革へ対応し役員・評議員定数などの定款変更を実施しました。組織の強化を目的に役員に大学教授を迎えました。	継続	透明性の高い事業運営を継続します。
42	P106	各団体の事務局業務	身体障害者福祉協会、遺族会、シニアクラブ連合会、子ども会連絡協議会、希望の会などの活動が円滑に進むよう事務局を担います。	地域福祉係	◎	身体障害者福祉協会、子ども会連絡協議会、希望の会については、活動が自立しており、事務局は事務補助の体制です。遺族会に関しては、役員 6 名との協議を重ねながら事業を推進しています。また、シニアクラブ連合会は、平成 29 年度は、三役会、体質改善対策役員会を毎月開催し、事業を行いました。	継続	シニアクラブ連合会、遺族会については、構成員の全体の高齢化もあり事務の補助は今後も必要です。